

| 科目名 | 開講時期 | 必修・選択 | 科目区分 | 単位（時間） | 科目責任者 |
|--|--|-------|------|-----------|---------|
| 在宅看護援助論 | 3年次 後期 | 必修 | 講義 | 1単位（30時間） | 川部 弘子 |
| 授 業 概 要 | | | | | |
| 在宅において医療的ケアが必要な対象について理解を深め、対象が必要とする具体的な援助方法を学習する。さらに在宅看護過程の一連のプロセスについて事例を用いて体験的に学習する。 | | | | | |
| 到 達 目 標 | | | | | |
| 1. 在宅において行われる医療的ケアと、それに伴う援助方法を根拠に基づいて説明する。 2. 事例の状況に応じた在宅看護過程を展開する。 3. 医療的ケアを受けている在宅療養を支援する際の留意点を述べる。 4. 在宅療養生活におけるリスクと安全管理の方法について説明する。 | | | | | |
| 実務経験のある教員 | | | | | |
| 川部 弘子、河野 優子：訪問看護師としての経験をふまえ医療依存度が高い対象の訪問看護のポイントを教授する。 | | | | | |
| 回 | 学 習 内 容 | | | | 担当教員 |
| 1-3 | 1. 在宅療養者や家族の状況に応じた日常生活援助と医療処置 1) 在宅酸素療法を行っている人の日常生活支援 2) 在宅人工呼吸療法を行っている人の日常生活支援 3) 腹膜透析療法を行っている人の日常生活支援 | | | | 河野 優子 ※ |
| 4-6 | 2. 医療的ケアが必要な在宅療養児とその家族への看護 | | | | |
| 7-13 | 3. 在宅看護過程の展開（演習） 医療依存度の高い在宅療養者とその家族への看護 | | | | 川部 弘子 ※ |
| 14-15 | 4. 在宅療養生活におけるリスクと安全管理 1) 災害への備え 2) 感染症の予防 3) 事故防止 4) 急変時への備え | | | | |
| 学 習 方 法 | | | | | |
| 講義 演習 グループワーク 小テスト | | | | | |
| 評 価 方 法 | | | | | |
| 科目修了試験 | | | | | |
| 先 修 科 目 | | | | | |
| なし | | | | | |
| 教科書、参考書 | | | | | |
| [教科書] 系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 秋山 正子 他 著 医学書院 | | | | | |